

平成 17 年度 生理研研究会 「痛みの分子メカニズムと治療戦略」

日時 : 平成 17 年 12 月 15 日 (木) 13:30 ~ 平成 17 年 12 月 16 日 (金) 16:30

場所 : 岡崎コンファレンスセンター 中会議室

提案代表者 : 仙波恵美子 (和歌山県立医科大学医学部)

所内対応者 : 富永真琴 (岡崎統合バイオサイエンスセンター 細胞生理)

----- プログラム -----

12 月 15 日 (木)

13:30 開会の辞

§ 1 末梢での痛み受容機構 (13:35~ 15:20) 座長 : 伊藤誠二先生・富永真琴先生

「PMA-induced re-sensitization of desensitized TRPV1 is mediated by PKC epsilon and phosphorylation at Ser 800」

Sravan Mandadi (生理学研究所 細胞生理部門)

「膀胱上皮細胞の蓄尿と痛みに関する検討」

百田芳春 (秋田大学 医 機能制御医学)

「テトロドトキシン非感受性ナトリウム電流はプロスタグランジンの影響を受けない」

鄭泰星 (広島大学 医 病態探究医科学)

「侵害受容性小型 DRG ニューロンにおける $Na_v1.9$ 電流の異常増大 (“キンドリング”) の誘発メカニズム」

柿村順一 (広島大学 医 医学部病態探究医科学)

「後根神経節ニューロンの活動電位発生における TTX 非感受性 Na チャネル $Na_v1.9$ の役割」

中本千泉 (広島大学 医 病態探究医科学)

「末梢神経特異的な新しい CRMP-2 isoform (periCRMP-2) の解析」

片野泰代 (関西医科大学 医化学)

~~~~~ 休憩 (15:20~ 15:40) ~~~~~

§ 2 脊髄後角でのプロセッシング(1) (15:40~16:50) 座長 : 吉村恵先生

「GPR7 の侵害刺激伝達における役割」

山本達郎 (千葉大学 医 麻酔科)

「ラットの三叉神経脊髄路核尾側亜核の侵害受容ニューロンに対する 5HT<sub>2A</sub> 受容体サブタイプの役割」

岡本圭一郎 (和歌山県立医科大学 生理学/解剖学)

「ラット脊髄膠様質ニューロンにおける興奮性シナプス伝達のカスホリパーゼ A2 活性化による促進」

藤田亜美 (佐賀大学 医 神経生理学)

「脊髄膠様質ニューロンにおける GIRK チャネルの機能的役割」

中塚映政 (佐賀大学 医 神経生理学)

§ 3 各種動物モデルにおける検討 (1)

(17:00~ 17:30)座長 水村和枝先生

「関節前肢不動化モデル動物の行動学的変化と脊髄可塑的变化」  
大迫洋治 (高知大学 医 整形外科)

「ラット癌性疼痛モデルにおける機械的および熱性痛覚過敏に対する TRPV1 および TRPV2 の関与」  
篠田雅路 (名古屋大学 医 機能形態学)

教育講演：DRG における TRP family の発現と機能」  
野口光一先生 (兵庫医大 解剖)

(17:30~ 18:00) 座長 杉浦康夫先生

懇親会 (19:00~ )

12月16日

§ 4 脊髄後角でのプロセッシング(2)

(9:00~ 10:10) 座長 熊本栄一先生

「脊髄後角膠様質細胞の形態学的分類と興奮性 抑制性シナプス入力との相関」  
八坂敏一 (九州大学 医 統合生理学)

「脊髄内痛覚情報伝達に対するドーパミン受容体の作用」  
玉江昭裕 (九州大学 医 統合生理学)

「脊髄内痛覚情報伝達に及ぼすATPのシナプス前性および後性作用」  
塩川浩輝 (九州大学 医 統合生理学)

「ミクログリアにおけるP2X<sub>4</sub>受容体の発現制御機構」  
津田誠 (九州大学 薬 薬効解析学分野)

教育講演：「ミクログリアの活性化と神経細胞傷害」  
錫村明生先生 (名大環境医学研究所 神経免疫)

(10:10~ 10:40) 座長 井上和秀先生

~~~~~ 休憩 (10:40~ 10:50) ~~~~~

§ 5 各種モデル動物での検討 (2)

(10:50~ 12:00) 座長 矢吹省司先生

「シスプラチンによって引き起こされる痛覚過敏のメカニズムの解析」
堀紀代美 (名古屋大学 医 機能形態学)

「神経結紮誘発性神経因性疼痛に対するモルヒネ先制鎮痛効果」
松本みさき (長崎大学 薬 分子薬理学)

「がん性神経因性疼痛とモルヒネ耐性」
木口倫一 (長崎大学 薬 分子薬理学)

「帯状疱疹後神経痛モデルマウスにおける皮膚神経線維の組織学的変化」
佐々木淳 (富山大学 薬 薬品作用学)

~~~~~ 昼食 (12:00~ 13:00) ~~~~~

§ 6 各種モデル動物での検討 (3)

(13:00~ 14:10) 座長 植田弘師先生

「GeneChipによる帯状疱疹痛モデルマウスの脊髄後角における網羅的遺伝子発現解析」  
高崎一朗 (富山大学生命科学先端研究センター)

「神経根性疼痛モデルにおける遺伝子解析」  
高山文治 (福島県立医科大学 整形外科)

「運動器障害によって作製した慢性痛症モデル動物 発症誘導要因としての炎症の役割は？」  
櫻井博紀 (愛知医科大学 痛み学)

「加齢ラットにおける遅発性筋痛 (DOMS)について」  
松田輝 (名古屋大学環境医学研究所 神経性調節)

~~~~休憩 (14:10~ 14:20)~~~~

§ 7 痛みの中樞メカニズム

(14:10~ 15:40) 座長 岩田幸一先生

「加齢変化が関与する異常疼痛発現の神経機構」
北川純一 (日本大学 歯 生理学)

「球心路遮断性疼痛に対する鏡療法は自己受容感覚に関連した痛みにも有効である」
住谷昌彦 (大阪大学 医 麻酔集中治療医学)

「病的痛みは視覚とクロスモーダルである」
住谷昌彦 (大阪大学 医 麻酔集中治療医学)

「触覚刺激による痛覚抑制は皮質レベルで生じる」
乾 幸二 (生理学研究所 感覚運動調節)

「痛み関連脳活動の報告 第3報」
牛田享宏 (高知大学 医 整形外科)

教育講演：

(15:40~ 16:20) 座長 緒方宣邦先生

「イメージングによる痛覚認知メカニズムの研究 主としてMEG とfMRI について」
柿木隆介先生 (生理学研究所 感覚運動調節)

講評：熊澤孝朗先生

16:30 閉会